

【4】早岐地区「地域福祉 “お茶の間トーク”」

◆“お茶の間トーク”ってなに？◆

早岐に住んでいる人や働いている人たちが集まり、これから、さらに住みやすい早岐をつくるために、いろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

早岐のまちを見つめなおし、自分たちにできることなどを話し合いながら、参加者同士の交流にもつながりました。

◆どのようなことをしたの？◆

“お茶の間トーク”は、誰もが対等な立場で自由に意見を出し合える「ワークショップ」という方法を用いて、3回にわたって行いました。

《第1回》平成18年1月28日(土)

テーマ:みんなの地域を知ろう!

内容:まずは、早岐にちなんだグループ対抗のクイズや、施設や学校などの場所を地図の中から探すマップづくりを行い、参加者の交流を深めました。

その後、地域のことを見つめなおし、早岐の“よかところ”と“こまりごと”を、参加者それぞれが自由に出し合いました。同じ地域の人だけに、日頃から同じ思いをもっている人も多かったようです。

参加者から出された意見の一部を紹介します。

【よかところ】

早岐瀬戸、観潮橋
交通の便がいい
歴史が古く、史跡・旧跡が多い
公園がたくさんある
地域に優しさがあふれている

【こまりごと】

ごみのポイ捨てが多い
車やバイクの騒音
道路の未整備
中心部・商店街に活気がない
地域の交流が少ない



皆さんも早岐地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましょう!



問1)早岐瀬戸に初めて橋がかかったのは昭和12年(1937年)のことです。

この橋はどんな橋だったでしょうか?

① 開閉橋 ② つり橋 ③ 鉄橋

問2)早岐駅は何年に開業したでしょうか?

① 1872年(明治5年) ② 1897年(明治30年) ③ 1898年(明治31年)

問3)早岐神社の階段は100段階段として有名ですが、実際には何段あるでしょうか?

① 129段 ② 135段 ③ 150段

※答えは、P6にあります。

《第2回》平成18年2月25日(土)

テーマ: みんなにできることを考えよう!

内容: まずは、日常生活での「助け合い・支え合い」をイメージするためのゲームを行い、楽しみながら「助けること・助けられること」を体験しました。
その後は、第1回で出し合った早岐の“こまりごと”について、それを解決するために「地域 みんなにできることはないか?」を考え、面白いものから現実的なものまで、たくさんのアイデアが出されました。



《第3回》平成18年3月18日(土)

テーマ: これからの地域を考えよう!

内容: 第2回で考えた“アイデア”について「どれくらい効果があるか」を考えました。
そして特に「効果が高い」と思われるアイデアについては、それを地域で実行する流れをイメージしてみました。
最後に、「は・い・き」を頭文字にした作文をつくりました。
“落語家”顔負けの名文の中からいくつかを紹介します。



は いきのまちは幸せいっぱい
い きいき元気でみんな仲良く
き もちよいまちづくり

は いきよかとこ
い つでもおいで
き みとほくとの出会いのまちへ

◆ 3回をふりかえって… ◆

毎回たくさんの方の参加で盛り上がり、地域 みんなで話し合ういい機会になったのではないのでしょうか。アンケートの結果から、参加者の声を一部紹介します。

- ・早岐のことについて一緒に話し合うことができ、いろいろな意見が短時間で出し合えて良かった。
- ・皆さんと気持ちよく話し合いができ、毎日の生活において活かしていきたい。
- ・皆さん元気な方々ばかりで、いろいろなアイデアが飛び出しよかった。
- ・早岐のいい面がたくさんあり、活発な意見が出て楽しかった。
- ・困っていることが多いことに気づきました。

…など

そして、なかにはこのような意見がありました。

これからどのように実行していくかが大切!“お茶の間トーク”で終わりではない。みんなで協力してがんばりましょう!

まさにそのとおりです。

みんなで出し合ったアイデアを、これからの活動につなげていくことが大切です。まずは、地域の中の一人ひとりが地域のために手を取り合い、“みんなにできること”から始めてみましょう!

そこで、“お茶の間トーク”で出されたことを次のページにまとめてみました。

⑥ 8回 ② 2回 ① 1回
お茶の間トークのまとめ